

# Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2023  
APRIL

No. 709

Sat. 15th April  
Subscription Concert

No. 90

Sun. 16th April  
Kawasaki Subscription Concert

No. 132

Sun. 23th April  
Tokyo Opera City Series

# 4



TOKYO  
SYMPHONY  
ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター 小林杏成  
グレブ・ニキティン

アシスタント・  
コンサートマスター 田尻 順

会 長 澤田秀雄

理事長 岡崎哲也

副理事長 平澤 創

依田 巽

専務理事 廣岡克隆

理 事 阿部武彦 永山 治

池辺晋一郎 夏野 剛

伊藤美樹 南部靖之

大橋 博 福川伸次

庄司 薫 藤原 洋

竹中平蔵 増岡聡一郎

辻 敏

監 事 磯村文靖

寺西基之

評議員長 金山茂人

最高顧問

評議員 梅沢一彦 西村 朗

鷗海量明 星 久人

片山泰輔 山添 茂

加藤英輔

特別顧問 飯島延浩

草壁悟朗

福田紀彦

### 1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理

### 2nd Violins

- ◎清水泰明
- ◎服部亜矢子
- ◎坂井みどり
- ◎加藤まな
- 福留史絵
- 阿部真弓
- 河橋あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子
- 小山あずさ\*

### Violas

- ◎青木篤子
- ◎武生直子
- ◎西村眞紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃

### Cellos

- ☆伊藤文嗣
- ☐笹 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 謝名元 民
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子

### Double Basses

- ☐助川 龍
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- コーディ・
- ローズブーム
- 渡邊淳子

### Flute

- ◎相澤政宏
- ◎竹山 愛\*

### Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

### Oboes

- ◎荒 絵理子
- 浦脇健太

### Oboe & English horn

最上峰行

### Clarinets

- ◎エマニュエル・ヌヴー
- ◎吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

### Bassoons

- ◎福井 蔵
- ◎福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

### Horns

- ◎上間善之
- 加藤智浩
- 阪本正彦
- 清根伸吾

### Trumpets

- ◎佐藤友紀
- ◎澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌

### Trombones

- ◎馬塚心輔
- ◎大馬直人
- 住川佳祐

### Bass Trombone

- 藤井良太

### Tuba

- 近藤陽一

### Timpani & Percussions

- ◎清水 太
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美
- ◎山村雄大\*

### Librarians

- 加藤幸子
- 林 知也\*

### Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

### 楽団員

- 井伊 準 ◆

### 楽団長

廣岡克隆

### 編成局長

藤原 真

### パーソンネル・マネージャー

大和田浩明

### 楽団委員

- 相澤政宏 (議長)
- 清水泰明 (書記)
- 小西応興
- 清水 太
- 藤井良太
- 最上峰行

### 事務局長

辻 敏

### 事務局

- 市川明都
- 伊藤瑛海
- 小川博司
- 尾木貴雄
- 桐原美砂
- 佐藤雄己
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- 梶川純子

### 名誉団友

- 深江泰輔 ◆
- 三木靖雄

### 団 友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃俐子
- 宇野 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正樹
- 大基良男
- 大和田ルース
- 小川さえ子
- 荻野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加藤直美
- 笠原勝一
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 萬原亮司
- 小林照雄
- 小林亮子
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 篠崎 隆
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 武田英昭
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 豊山 悟
- 中塚和良
- 中塚博樹
- 中山 智
- 西藤智子
- 西脇秀治
- 野村寛澄
- 馬場隆弘
- 原田英保子
- 日野 葵
- ペアン・
- ボーマン
- 前田健一郎
- 松崎絵絵
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺 功
- 渡辺節郎

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

☆ソロ首席奏者 ◎首席奏者 ☐客演首席奏者 ○フォアシュペーラー ●インスペクター

■本部長 □シニア・ディレクター \*研究員・準事務局員 ◆故人

**チケットに記載された  
座席でご鑑賞ください**

お手持ちのチケットは記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.

**演奏中はお静かに**

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご注意ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.

**開演前に携帯電話、時計のアラーム音、  
電子機器等の電源はOFF**

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.

**周囲の視界を遮るような  
行為はやめましょう**

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.

**ホール内での録音・録画・許可のない  
写真撮影は禁止です**

Photography, filming and recording are prohibited.

**演奏中の飲食はご遠慮ください**

のど飴等の包み紙を開ける音は場内に響きますので、演奏中の開封はご遠慮ください。

Refrain from eating and drinking during the performance.

**補聴器の確認を**

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるためにきちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.

**開演後の入場を  
制限させていただきます**

開演後のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.

**咳、くしゃみをする際は  
ハンカチで押さえましょう**

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.

**曲の余韻も演奏のうちです**

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause until the actual end of the performance.

**カーテンコールの撮影について**

定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリーズ・特別演奏会にて終演後のカーテンコールの撮影が可能になりました。撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

◎前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません ◎フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください

◎SNS等に掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください

◎スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください

**新型コロナウイルス感染症対策とお願い****館内はお静かに**

客席、ホワイエ等では十分な間隔を確保し、会話はできるだけお控えください。

**咳エチケット**

ホール内では不織布等のマスクが推奨されています。マスクを着用されない場合は、会話をお控えいただき、会話やプラボなどのお声がけの際は、着用をお願いいたします。

**面会などの中止**

出演者の入待ち・出待ちはできません。花束等のプレゼントはお預かりすることができませんのでご了承ください。

**体温測定**

一部ホールでは、会場入口にて設置・計測いたしますのでご協力をお願いいたします。

平熱と比べて1℃以上の高い発熱がある方は、ご入場をご遠慮いただく場合がございます。

**一部サービスの休止**

一部ホールではドリンクコーナー/クローカーサービスを休止しております。薬の服用や水分補給のために必要な飲料水(フタ付き飲料)はご持参ください。

※ガイドラインの変更によって内容を随時変更させていただきます。

4/15 SAT. 16 SUN.

## 第709回定期演奏会

2023年4月15日(土) 18:00 サントリーホール

## Subscription Concert No.709

Sat. 15th. April 2023, 18:00 Suntory Hall

## 川崎定期演奏会第90回

2023年4月16日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

## Kawasaki Subscription Concert No.90

Sun. 16th. April 2023, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall

クシシュトフ・ウルバンスキ [指揮]  
シモーナ・シャトゥロヴァ [ソプラノ]  
ゲルヒルト・ロンベルガー [メゾソプラノ]  
与那城 敬 [バリトン]  
東響コーラス [合唱]  
富平 恭平 [合唱指揮]  
小林 亘成 [コンサートマスター]

Krzysztof Urbański, Conductor  
Simona Šturová, Soprano  
Gerhild Romberger, Mezzo Soprano  
Kei Yonashiro, Baritone  
Tokyo Symphony Chorus, Chorus  
Kyohei Tomihira, Chorusmaster  
Issey Kobayashi, Concertmaster

プロコフィエフ:  
バレエ組曲「ロメオとジュリエット」より  
(ウルバンスキ・セレクション) (44')  
モンターギユ家とキャピュレット家  
情景  
朝の踊り  
少女ジュリエット  
仮面  
ロメオとジュリエット  
踊り  
タイボルトの死  
朝のセレナーデ  
百合の花を手にした娘たちの踊り  
ジュリエットの墓前のロメオ  
ジュリエットの死

S.Prokofiev:  
Romeo and Juliet Suites  
(Selected by Urbański) (44')  
The Montagues and the Capulets  
Scene  
Morning dance  
Juliet as a young girl  
Masks  
Romeo and Juliet  
Dance  
Death of Tybalt  
Morning serenade  
Dance of Girls with Lilies  
Juliet's funeral  
Death of Juliet

休憩 (20')

Intermission (20')

コネッソン:  
Heiterkeit<日本初演>  
(合唱とオーケストラのためのカンタータ) (11')

G.Connesson:  
Heiterkeit<Japanese Premiere>  
(Cantata for chorus and orchestra) (11')

シマノフスキ:  
スターバト・マーテル op.53 (20')

K.Szymanowski:  
Stabat Mater op.53 (20')

- 主催/公益財団法人東京交響楽団 ●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/川崎市、「音楽のまち・かわさき」推進協議会(4/16)
- 協力/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)(4/16)

楽曲解説はP.08をご覧ください



MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

※当初の予定から、バレエ組曲「ロメオとジュリエット」の抜粋曲が変更となりました。

4/15 SAT. 16 SUN. 23 SUN.



©Marco Borggreve

# Krzysztof Urbanski

Conductor

クシシュトフ・  
ウルバンスキ  
[指揮]

1982年ポーランド生まれ。米・インディアナポリス響音楽監督、ノルウェー・トロンハイム響名誉客演指揮者、NDRエルプフィル管(旧北ドイツ放送響)首席客演指揮者を経て、2022年11月ウラディーミル・アシュケナージの後任としてイタリア交響楽団の首席客演指揮者に任命された。

東京交響楽団へは2009年11月に初登場、リハーサルから暗譜で行うなどその才能を遺憾なく発揮し、楽団員からの信頼も厚い。2013年から3年間、東京交響楽団首席客演指揮者を務めた。ミュンヘン・フィル、ベルリン・フィル、シュターツカペレ・ドレスデン、ロンドン響、パリ管など世界中からオファーが絶えず、今シーズンはチューリッヒ・トーンハレ管やワシントン・ナショナル響との再共演も注目を集めている。

2015年、目覚ましい活躍をした新進音楽家に贈られる『レナード・バーンスタイン賞』を指揮者として初めて受賞。2007年ポーランド・ワルシャワのショパン音楽アカデミーを卒業、同年プラハの春国際指揮者コンクールで優勝。

Highlights of Krzysztof Urbanski's 23/24 season include debuts with the Symphonieorchester des Bayerischen Rundfunks, Orchestre de la Suisse Romande, Orchestra Sinfonica Nazionale della Rai and the Atlanta Symphony Orchestra. Autumn 2023 sees his concerts with the Dresdner Philharmonie (at the Kulturpalast and on a tour in Europe) and with the Orchestra della Svizzera italiana. Moreover he returns to the Münchner Philharmoniker, hr-Sinfonieorchester, Wiener Symphoniker, Philharmonia Zürich and the Dallas Symphony Orchestra.

Krzysztof Urbanski served as Music Director of the Indianapolis Symphony Orchestra from 2011 to 2021 and as Chief Conductor and Artistic Leader of the Trondheim Symphony (2010-2017). In 2017 he was appointed Honorary Guest Conductor of the Trondheim Symphony and Opera. He was Principal Guest Conductor of the Tokyo Symphony (2012-2016) and Principal Guest Conductor of the NDR Elbphilharmonie Orchester (2015-2021). In November 2022 he was appointed Principal Guest Conductor of the Orchestra della Svizzera italiana.

# Simona Šaturová

Soprano

## シモーナ・シャトウロヴァ [ソプラノ]

スロバキア、ブラチスラヴァ生まれ。5歳でヴァイオリンを、その後ブラチスラヴァ音楽院で歌を学び、イレーナ・コトルバスをはじめとする数々のマスタークラスに参加。コンサート、オラトリオの歌手として、ザルツブルク音楽祭やタンゲルウッド音楽祭など、世界の由緒ある音楽祭に数多く客演。クリストフ・エッセンバッハ、シャルル・デュトワ、ヘルベルト・ブロムシュテット、イヴァン・フィッシャー、クシシュトフ・ペンデレツキ、ケント・ナガノ等と定期的に共演している。アールト歌劇場(エッセン)とゼンパー・オーパー(ドレスデン)での『後宮からの誘拐』コンスタンツェ役が絶賛されて以降は、両劇場公演にも数多く出演するほか、プラハ国立劇場を含む多くの舞台で活躍している。



© Thomas Houga

Simona Šaturová was born in Bratislava (Slovakia) and was only five when she was given her first violin lesson. She studied singing at Bratislava Conservatory and attended various master classes, most notably with Ileana Cotrubas.

The singer has given guest performances as a concert and oratorio singer at various music festivals, including Salzburg Festival, Tanglewood Festival and more. Conductors with whom the soprano regularly works include Christoph Eschenbach, Charles Dutoit, Herbert Blomstedt, Iván Fischer and more.

Simona Šaturová's great success as Konstanze (Die Entführung aus dem Serail) with the Aalto-Theater in Essen and the Semperoper Dresden led to a close association with both houses. In addition to numerous performances at the National Theatre in Prague, the soprano has also appeared on many stages.

# Gerhild Romberger

Mezzo Soprano

## ゲルヒルト・ロンベルガー [メゾソプラノ]

ドイツ・エムスラント生まれ。デトモルト音楽院で学び、白井光子とハルトムート・ヘルに師事。レパートリーは幅広く、バロックから古典派、ロマン派、20世紀の音楽まで、オラトリオやコンサートの主要なコントラルトとメゾソプラノのパートを網羅している。近年は、マンフレート・ホーネック、グスターボ・ドゥダメル指揮ベルリン・フィル、ヘルベルト・ブロムシュテット指揮ロサンゼルス・フィル、リッカルド・シャイー指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管と共演したほか、今シーズンは、ネルソンス指揮ウィーン・フィルのコンサート・ツアー、アムステルダムのロイヤルコンサートヘボウの公演に出演予定。2014年ミュゼザ川崎シンフォニーホール開館10周年記念コンサート「千人の交響曲」に出演。



© Rosa Frank

Gerhild Romberger was born in the Emsland. After studying music for schools at the Academy of Music in Detmold, she studied with Mitsuko Shirai and Hartmut Höll. As a passionate concert-singer her extremely extensive repertoire encompasses all the major contralto and mezzo-soprano parts in the oratorio and concert repertoire from the Baroque to the Classical and Romantic periods to the 20th century music.

Significant steps in Gerhild Romberger's career in recent years were concerts with Manfred Honeck, the Berlin Philharmonic under Gustavo Dudamel, with the Los Angeles Philharmonic under Herbert Blomstedt and the Leipzig Gewandhausorchester under Riccardo Chailly.

Highlights of the current season include a concert tour with the Vienna Philharmonic Orchestra under the baton of Andris Nelsons as well as a concert with Concertgebouworkest in Amsterdam.

4/15 SAT. 16 SUN.

## Kei Yonashiro

Baritone

## 与那城敬 [バリトン]

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業後に声楽へ転向、同大学研究科修了。二期会および新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊。二期会『蝶々夫人』シャープレス、『金閣寺』溝口、香港オペラ『ラ・ボエーム』マルチェッロ、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』アルフォンソ、グランドオペラ共同制作『カルメン』エスカミーリョ等数多く出演。22年は2月二期会『フィガロの結婚』伯爵、3月新国立劇場『椿姫』ドビニー侯爵、4月同『ばらの騎士』ファーニナルと立て続けに出演。12月北とぴあ国際音楽祭『アルミード』出演でも話題を呼んだ。コンサートでも、メンデルスゾーン「エリア」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等で高い評価を得ている。二期会会員



©Hiromi NAGATOMO

Graduated from Piano Course of the Toho Gakuen College Music Department, and then completed its Master Course in vocal music. Among the 5th wave of graduates of the New National Theatre Opera Studio's Training Program. Studied in Milan through the Program of Overseas Study for Upcoming Artists of the Agency for Cultural Affairs Artist Overseas Training Program. Won the third prize at the 16th Mario del Monaco International Vocal Competition. He appeared to date in the title role of Eugene Onegin, as Guglielmo in the Amon Miyamoto production of Cosi fan tutte among others. At the New National Theatre, Tokyo, performed Faninal in Der Rosenkavalier recently. He is a member of Nikikai.

## Kyohei Tomihira

Chorus Master

## 富平恭平 [合唱指揮]

東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を高関健、田中良和の各氏に師事。オペラでの活動が多く、多数の公演で副指揮者、合唱指揮者、コレパティトゥア、プロンプターを務めている。東京二期会音楽スタッフ、新国立劇場音楽スタッフを経て、2019年4月より新国立劇場合唱団指揮者に就任。



Kyohei Tomihira graduated from Tokyo University of the Arts. He has conducted orchestras such as Gunma Symphony, Tokyo City Philharmonic, Tokyo Philharmonic, and Tokyo Symphony. He also serves as Associate Conductor and Chorus Master in opera performances of New National Theatre, Tokyo, Tokyo Nikikai Opera Foundation and The Fujiwara Opera. He is a Chorus Master of New National Theatre, Tokyo.

# Tokyo Symphony Chorus

Chorus

## 東響コーラス [合唱]

1987年に東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。指導には、演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指揮者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招いている。公演毎に出演者を決定するオーディションを行うことで、常に演奏の質を高めている。

コロナ禍によりしばらくの活動休止期間を経て、2021年9月「名曲全集」にて東京交響楽団と2年ぶりの共演。音楽監督ジョナサン・ノットと2年半ぶりの共演となった2022年5月「ウォルトン：ベルシャザールの饗宴」、同年12月「ベートーヴェン：交響曲第9番」は絶賛を博した。

### メンバー表

#### ●指導者

合唱指揮：富平恭平  
稽古ピアニスト：古瀬安子  
発声指導：大沼 徹、高橋 淳  
武内朋子、藤井直美  
言語指導：平岩理恵

#### ●委員長 岡野一哉 (Bas.)

#### ●副委員長 鳥居順子 (Sop.) 服部俊治 (Ten.)

#### ●パートリーダー

Sop. (正) 遠藤由理 (副) 岡 邦子  
Alt. (正) 齋藤由紀 (副) 伊藤晴子  
Ten. (正) 内山誠彦 (副) 枇杷高志  
Bas. (正) 水野 敬

#### ●コーラス委員

Sop. 石井眞穂  
武田美香  
山下由美子  
Alt. 竹内あゆみ  
藤崎幸子  
吉村美恵子  
Ten. 大崎 純  
木村 健  
田戸陽一  
Bas. 杉山慎二  
西村 真  
早川克己

#### Soprano

石井 恵  
伊藤貴子  
遠藤由理  
大貫由香  
岡 邦子  
奥泉亮子  
小野寺美和  
川崎仁美  
草野真由美  
五味川裕美  
佐藤かえで  
佐藤深雪  
佐藤由紀子  
島崎尚美  
鈴木信恵  
鈴木美和  
瀬沼紀子  
武田美香  
鳥居順子  
中村美奈子  
坂東泰子  
東原なお  
平川暢子  
本行佳奈  
増淵由佳  
室井千晶  
森田恵子  
森本由希  
山下由美子

山田美生子  
山之内文子

#### Alto

石渡範子  
伊藤晴子  
浦上珠絵  
大内田由紀子  
奥山由里  
尾崎いずみ  
尾島夕里  
尾田雅代  
加藤啓子  
加藤由美子  
木内道子  
小林朋子  
小張さゆり  
齋藤由紀  
須田眞理子  
関口あずみ  
高田恵子  
竹内あゆみ  
田中美樹  
谷野仁美  
外山恭子  
中島奏子  
藤崎幸子  
堀西香織  
水越睦美  
山下裕美

山邊伸子  
鏡水みお  
吉井久美子  
吉村美恵子  
渡邊朋子  
渡邊史恵

#### Tenor

内山誠彦  
大崎 純  
大島克義  
小川 徹  
奥貴壮史  
木村 健  
坂本宗男  
鈴木徹也  
高塚裕之  
竹内邦夫  
竹田 忍  
竹本大祐  
田戸陽一  
塚本 隆  
佃 浩一  
永友伴憲  
中原裕幸  
西 宏隆  
野口 晃  
服部俊治  
水越睦美  
馬橋達成

水谷晴彦  
和田 敏

#### Bass

浅香 勝  
安藤志津夫  
今井俊博  
大足史郎  
緒方博則  
岡野一哉  
河村太郎  
木内正則  
小泉 徹  
河野 愛  
篠田一朗  
杉山慎二  
土井 丈  
西村 真  
早川克己  
平川尚義  
堀 浩史  
松木 望  
水野 敬  
柳谷一彦  
矢野 通  
山崎弘光  
山之内達也  
横尾 優  
米田 光



# 4/15 SAT. 16 SUN.

セルゲイ・プロコフィエフ(1891～1953)

## バレエ組曲「ロメオとジュリエット」より

プロコフィエフは1935年、ロシア革命直後の亡命から17年にわたる国外生活を終えて祖国に帰国することを決めた。バレエ音楽《ロメオとジュリエット》は、まさしくその人生の転換期とも言えるタイミングで作られた作品である。ただし、各所が尽力したにも関わらず、当初ソ連国内では上演許可が下りず、世界初演は1937年にチェコスロヴァキア(当時)、ブルノの劇場で行われた。短い準備期間の都合から、プロコフィエフのものではない音楽が含まれていたり、3幕もの大規模な内容が1幕に縮約されていたりはしたが、ともあれこの初演は成功を収めた。母国での全曲初演は1940年、レニングラードのキーロフ劇場で行われると、上演に際する紆余曲折にも関わらず高く評価された。

プロコフィエフは作曲にあたり、諍い争いあう両家に生まれながら愛し合った2人をめぐる悲劇を緻密に研究し、登場人物の性格や各場面の様相を幅広い様式や語法によって色鮮やかに描写した。特に注目すべき特徴は、同時代人が「ライトエピソード」や「ライトテーマ」と呼んだ旋律主題の使用であろう。愛らしいジュリエットの主題、緊迫感と高雅さが漂う騎士の主題などが全体を通じて用いられることで、多様な表情を持つ大規模なバレエ音楽全体が、一つの筋を持つ作品として統一されている。また本作は、革命前後や国外で見せていた革新的な語法や斬新な不協和音よりも叙情性を前面に押し出した作曲家の新境地だと理解され、そのことも「社会主義リアリズム」を公式の芸術創作指針としていたソ連国内で好評を博した理由となっている。

プロコフィエフは作曲にあたり、諍い争いあう両家に生まれながら愛し合った2人をめぐる悲劇である原作を緻密に研究し、登場人物の性格や各場面の様相を幅広い様式や語法によって色鮮やかに描写した。また本作は、革命前後や国外で見せていた革新性や斬新な不協和音を抑えて理解しやすい叙情性を前面に押し出した作曲者の新境地だと理解され、そのことも「社会主義リアリズム」を公式の芸術創作指針としていたソ連で本作が好評を博した理由となっている。

なお、ソ連国内ではバレエ初演に先立って、プロコフィエフ自身がバレエ音楽から主要な場面を抜粋・編曲した組曲第1番と第2番(作品64bis, ter)が演奏された。今日では1946年に作曲された第3番(作品101)を含めた全20曲が自由に組み替えて演奏されることも多く、本日もそれらの組曲からの抜粋となる。

〈モンターギュ家とキャピュレット家〉は、第1幕後半、舞踏会の〈騎士の踊り〉の場面

の音楽に基づく。緊迫感あふれる序奏ののち、二拍子による荘重な古典的な舞踊の風景が描写される。優雅な三拍子の中間部は、ジュリエットが若手貴族パリスとペアで踊るシーン。〈情景〉はバレエ序盤の〈通りが目覚める〉から取られた小曲。次曲の〈朝の踊り〉と共通の旋律主題が用いられているが、こちらはより軽やかで長閑な雰囲気をつたえている。一方〈朝の踊り〉では、打楽器とダイナミックなアーティキュレーションにより、にぎやかで忙しい朝の道が想起される。〈少女ジュリエット〉の前半は、軽快な主題でジュリエットの快活な清らかさ、少女らしさを描写する。一方中間部、母にパリスとの結婚を提案されるシーンでは、叙情的な音楽が彼女の心の揺れ動きを繊細に表現する。〈仮面〉は〈騎士の踊り〉の直前、ロメオとその友人2人が仮面をかぶってキャピュレット家の舞踏会に忍び込む場面の音楽。静かな序奏から、遊び心のある装飾的な旋律が導き出される。〈ロメオとジュリエット〉は、二人の主人公のバルコニーでの逢引の場面の音楽。途中で愛らしいジュリエットの主題が聴こえたかと思うと、情感豊かで伸びやかな二人の愛の主題が歌われる。〈踊り〉では貴族たちの舞踏会での踊りとはまた違った性格をもった、活気あふれる民衆の踊りが描かれている。〈タイボルトの死〉はバレエの中盤の音楽。ロメオの友人マーキューシオを斃したキャピュレット夫人の甥タイボルトと、いきり立ったロメオとの緊迫感ある決闘のシーン、タイボルトを殺してしまったことに悶え苦悩するロメオとキャピュレット夫人の悲しみが、登場人物それぞれの激しい情動とともに鮮やかに描かれる。ジュリエットが葉をあおった翌朝の場で奏される〈朝のセレナーデ〉はきらびやかで軽やかな小曲で、各楽器の独奏が朝の鳥の歌を連想させる。原曲でも続けて演奏される次曲〈百合の花を手にした娘たちの踊り〉は、エキゾチックでけだるげな雰囲気をたたえた音楽。〈ジュリエットの墓前のロメオ〉は最終第4幕、哀痛にくれるロメオの悲歌。続く〈ジュリエットの死〉は悲劇を締めくくる終曲。行き違いで命を絶った恋人を目にしたジュリエットの嘆きと悶え苦しみが高音の旋律と不協和音で表現され、彼女の死によるおごそかな終結を導く。

山本明尚 Text by Akihisa Yamamoto

作曲：原作バレエ：1935年（第1版）、1940年（第2版）  
第1組曲：1936年、第2組曲：1936年、第3組曲：1946年

初演：原作バレエ世界初演：1938年12月30日マーヘン劇場（チェコスロヴァキア（当時）、プルノ）  
原作バレエ連初演：1940年1月11日キーロフ劇場（現マリインスキー劇場、レニングラード）  
第1組曲：1936年11月24日モスクワ、ジョルジュ・セバステヤン指揮  
第2組曲：1937年4月15日レニングラード、作曲者自身の指揮  
第3組曲：1946年3月8日モスクワ、ヴラディーミル・デクチャレンコ指揮

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、テナー・サクソフォン1、ホルン4、トランペット3（ホルネット持替1）、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、グロックン、タンブリン、トライアングル、ウッドブロック、シンバル、大太鼓、小太鼓、ハーブ、ピアノ、チェレスタ、弦5部

## 4/15 SAT. 16 SUN.

ギョーム・コネッソン(1970～)

## Heiterkeit(日本初演)

Heiterkeit《Sérénité》(晴れやかさ《静穏》)は、フリードリヒ・ヘルダーリン(1770～1843)の4つの詩を元に作曲した、合唱とオーケストラのためのカンタータです。

精神異常と判断されたヘルダーリンは、晩年までの36年間、ドイツ・テュービンゲンの塔で隠遁生活を送っていました。この間も彼は「スカルダネッリ」というペンネームを使い執筆活動を続け、作品には1748年や1940年など架空の年号をつけていました。私が選んだ4つの詩は、この長く恐ろしい狂気と孤独の時代から生まれたものです。しかし、この詩はそれとは対照的に静寂に支配され、瞑想的な静けさを持っています。四季折々の自然の営み、自然の美しさ、子ども時代の懐かしさなどを交えながら、シンプルで澄んだ言葉で書かれています。失われた自由を、強い精神と想像力で取り戻したことを讃えているのです。

ベートーヴェンの交響曲第9番と同じ編成で書かれた「Heiterkeit」は、3つの部分で構成されています。第1部は夜明け、春を祝う光り輝くクレッシェンド(“Das junge Jahr beginnt, als wie mit Festen,”若き一年は祝祭のように始まり)に始まり、モルト・ヴィーヴォへと続く。第2部では、風に髪をなびかせながら草原を歩いた記憶が呼び起こされ、『Wie der Geist mich lustig fragt, / Worin Inneres bestehet, / Bis Auflösung diesem tagt,』(心の内なるものがどこに立っているのか、その問いを解いてくれる日が訪れるまでの間、私の心が自分に楽しげに訊ねているかのようだ。)という重要な問いに対し、壮大なフォルテッシモで最高潮に達する。第3部は、静かな宇宙の黄昏で、失われた子ども時代の幸せな記憶を語るコーラスで締めくくられます。

この曲は、インディアナポリス交響楽団からの委嘱作品として作曲しました。この楽譜をグシシュトフ・ウルバンスキに捧げます。

ギョーム・コネッソン Text by Guillaume Connesson

作曲:2021年

初演:2022年4月8日、グシシュトフ・ウルバンスキ指揮、インディアナポリス交響楽団

編成:フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、トライアングル、シンバル、大太鼓、グロッケンシュピール、ヴィブラフォン、弦5部、混声合唱

# Connesson: Heiterkeit«Sérénité」 [歌詞対訳]

## 晴れやかさ《静穏》

訳：三ヶ尻 正

### Der Frühling

Der Tag erwacht, und prächtig ist der Himmel,  
Entschwunden ist von Sternen das Gewimmel,  
Der Mensch empfindet sich, wie er betrachtet,  
Der Anbeginn des Jahrs wird hoch geachtet.

Erhaben sind die Berge, wo die Ströme glänzen,  
Die Blütenbäume sind, als wie mit Kränzen,  
Das junge Jahr beginnt, als wie mit Festen,  
Die Menschen bilden mit Höchsten sich und Besten.

### Das fröhliche Leben

Wenn ich auf die Wiese komme,  
Wenn ich auf dem Felde jetzt,  
Bin ich noch der Zahme, Fromme,  
Wie von Dornen unverletzt.

Mein Gewand in Winden wehet,  
Wie der Geist mich lustig fragt,  
Worin Inneres besteht,  
Bis Auflösung diesem tagt.

### Der Sommer

Die Tage gehn vorbei mit sanfter Lüfte Rauschen,  
Wenn mit der Wolke sie der Felder Pracht vertauschen,  
Des Tales Ende trifft der Berge Dämmerungen,  
Dort, wo des Stromes Wellen sich hinabgeschlungen.

Der Wälder Schatten sieht umhergebreitet,  
Wo auch der Bach entfernt hinuntergleitet,  
Und sichtbar ist der Ferne Bild in Stunden,  
Wenn sich der Mensch zu diesem Sinn gefunden.

### Nicht alle Tage...

Nicht alle Tage nennet die schönsten der,  
Der sich zurücksehnt unter die Freuden,  
wo Ihn Freunde liebten, wo die Menschen  
Über dem Jüngling mit Gunst verweilen.

### 春

一日が目覚める。天は輝かしい。  
星々の群れは消え、  
人は自身で感じる：願(かえり)みたように  
一年の始まりは高く仰ぎ見られている、と。

山々は崇高で、そこには曙光が輝く  
花咲く木々は、冠を戴いたようであり、  
若き一年は祝祭のように始まり、  
人々はいと高きもの、いと善きものを身にまどって  
自身を作り上げる。

### 楽しい人生

私が草原に来ると  
私がいま野原に来ていてと  
自分はまだ加護のもとにいて従順であり  
トゲに傷付けられていないと感じる。

私がかとう服は風の中で吹かれている：それはあたかも  
「心の内なるものがどこに立っているのか、」  
「その問いを解いてくれる日が訪れるまでの間、」  
「私の心が自分に楽しげに訊ねているかのようだ。」

### 夏

日々が穏やかな風のさざめきとともに過ぎ去り  
野原の華やぎと引き換えに雲を得るとき  
谷の奥は山々の黄昏と出会う。  
そこでは、川の立てる波が流れ落ちて行く。

森の陰はあたり一面を見渡す。  
その遠くでも小川が滑るように下って行く。  
そして、人がこの意味と自身が繋がっていると知れば  
時の経つうちに遠くの景色が見えてくる。

### あらゆる日が素晴らしいとは...

あらゆる日が素晴らしい、とは呼ばない：  
友らが自分を愛し、若者だった自分に  
人々が好意をもってずっと接してくれていた日々を  
思い返し憧憬を抱いている者は。

## 4/15 SAT. 16 SUN.

カロル・シマノフスキ(1882～1937)

## スターバト・マーテル op.53

《スターバト・マーテル》は、カロル・シマノフスキが初めて手掛けた宗教音楽作品である。タイトル通り、この作品はローマ・カトリック教会の典礼で歌い継がれてきた聖歌を基にしているが、歌詞はポーランド語のテキスト(ユゼフ・ヤンコフスキ訳)に拠るものだ。1920年代のシマノフスキは自国のフォークロアを創作の源泉としたが、ここではポーランドのルネサンス音楽や民衆の宗教歌を参照している。素朴な音楽語法と母語によるテキストで、聖母の悲しみと祈りを感性豊かに描き出したこの作品は、彼が理想とした「ポーランドの宗教音楽」の、一つの完成形といえよう。献辞には「イザベラ・クリスタル夫人の思い出に」とあるが、作曲を依頼したプロニスワフ・クリスタル博士の当初の要望は、亡き妻に捧げるレクイエムだった。シマノフスキは曲目を変更した理由を明かさなかったが、この作品は彼の生前にもっとも評価された作品となり、今なお代表作の一つに数えられている。

曲は20節の歌詞をほぼ4節ずつに分けた6つの章で構成されている。第1章の冒頭でフルートとクラリネットが奏する旋律は、全体を統一する役割を果たす。続くソプラノ独唱と女性合唱は、悲しみに暮れる聖母の姿をしめやかに描き出すが、バリトン独唱と混声合唱による第2章で音楽は一転して重々しい不穏な調子に変わる。第3章では、「聖母よ 普遍なる愛の泉よ」と歌うアルト独唱と木管楽器のアンサンブルによって抒情的な旋律が紡がれる。混声合唱と女声独唱陣がアカペラで奏する第4章は、楽曲中もともと古風な雰囲気や滲み込んでおり、シマノフスキの中世・ルネサンス音楽の様式への関心が見て取れる。第5章に入ると音楽はオラトリオ風の劇的な様相を帯び、合唱と管弦楽の総奏でクライマックスを迎える。第6章では、「キリストよ わたしを守る砦となってください」から始まる最後の2節が、全独唱者と混声合唱によって歌われる。音楽はこれまでの章を回想しながら進み、最後は祈りの言葉とともに嬰へ長調の主和音が静かに響きわたる。

重川真紀 Text by Maki Shigekawa

作曲: 1925～26年3月

初演: 1929年1月11日ワルシャワ、グジェゴシュ・フィテルベルク指揮

スタニスワヴァ・シマノフスカ(ソプラノ)、ハリーナ・レスカ(アルト)、エウゲニユシ・モッサコフスキ(バリトン)による独唱

編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、大太鼓、トライアングル、サスペンデッドシンバル、タムタム、チューブラーベル、ハーブ1、オルガン、弦5部、独唱(ソプラノ、アルト、バリトン)、混声合唱

## Szymanowski: Stabat Mater

訳: 平岩理恵

## 1:

Stala Matka bolejąca,  
Koło krzyża łzy lejąca,  
Gdy na krzyżu wisiał Syn.

悲嘆に暮れる聖母は 十字架の傍ら  
涙を溢れさせ 立ちつくしていた。  
その十字架には 息子がかけられていたのだ。

A jej duszę potyraną  
Rozplakaną, poszarpaną  
Miecz przesywał ludzkich win.

一方 母の魂は 掻き乱され  
涙に濡れ 引き裂かれ  
人びとの罪の剣に 刺し貫かれていた。

O, jak smutna, jak podcieta  
Była Matka Boża święta,  
Cicha w załamaniu rąk!

ああ、何と哀しみ 何と傷ついて  
聖なる神の御母たるお方は  
独り静かに絶望の淵におられることか!

O, jak drżała i truchlała,  
I bolała, gdy patrzała  
Na synowskich tyle mąk.

ああ、何と震え 慄き  
悲痛な思いをされていることか、  
息子のこれほどの受難を 目の当たりにして。

## 2:

I któż, widząc tak cierpiącą,  
Lzą nie zaćmi się gorącą,  
Nie drgnie, taki czując nóż?

一体 かくも苦悶する彼女を 目にして  
熱い涙で目を曇らせない者があるうか。  
刃をつきつけられたがごとく 震え出さぬ者があるうか。

I kto serca nie ubroczy,  
Widząc, jak do krzyża oczy  
Wzbiła, z bólu drętwą już.

一体誰が 心に傷を負わずにいられようか。  
痛みにもはや生気を失って 十字架へと  
その眼を上向ける様を目にして。

Za ludzkiego rodu winy  
Jak katowan był jedyny,  
Męki każdy nosła dział.

人々の罪を贖うがため たった一人彼は  
どれほどの責め苦を受けられたことか。  
その苦痛の一つ一つを 彼女はわが身に感じておられた。

I widziała, jak rodzony  
Jej umierał opuszczony,  
Zanim Bogu duszę dał.

そして見たのだ。産みの子が  
見捨てられ 死にゆく様を。  
ついに天に召されるそのときまで。

## 3:

Matko, źródło wszechmiłości,  
Daj mi uczuć moc załości,  
Niechaj z Tobą dźwignę ból.

聖母よ 普遍なる愛の泉よ  
あなたの悲嘆を わたしにも感じさせ  
苦痛を あなたとともに荷わせてください。

Chrystusowe ukochanie  
Niech w mym sercu ogniem stanie,  
Krzyża dzieje we mnie wtul.

キリストの慈愛よ  
わたしの心で 燃え立つ炎となってください。  
十字架上の御業を わたしにも深く味わわせてください。

## 4/15 SAT. 16 SUN.

Matko, Matko, miłosiernie  
Wejrzyj. Syna Twego ciernie  
W serce moje wraz jak w cel.

母よ、聖母よ 慈悲深くも お認めください。  
あなたの息子が受けられた棘を  
わたしの心めがけて 叩き込んでください。

Rodzzonego, męczzonego,  
Syna Twego ofiarnego  
Każń owocną ze mną dziel.

あなたの産み落とされた息子は  
自ら身を捧げ 責めを受けられた。  
そして処せられた刑は わたしも分かち合うべきものです。

## 4:

Spraw, niech płaczą z Tobą razem,  
Krzyża zamknę się obrazem  
Aż po mój ostatni dech.

どうか あなたとともに涙を流し  
十字架の光景を 反芻させてください。  
わたしが最後の息を引き取るまで。

Niechaj pod nim razem stoję,  
Dzielę Twoje krwawe znoje.  
Twą boleścią zmywam grzech.

どうかその下に とともに立ち  
その血にまみれた苦しみを 分かち合わせてください。  
あなたの痛みで 罪を洗い流すのです。

## 5:

Panno słodka, racz, mozołem  
Niech me serce z Tobą społem  
Na gołgocki idzie skłon.  
Na gołgocki idzie szczyt.

慈しみ深き乙女よ 懇願をお聞き入れください。  
どうかわたしの心を あなたとともに  
ゴルゴタの丘に 行かせてください。  
ゴルゴタの頂に 行かせてください。

Niech śmierć przyjmę z katów ręki,  
Uczestnikiem będę męki,  
Razów krwawych zbiorę plon.

刑吏らの手が下す死を わたしにも受容れさせてください。  
わたしにも その責め苦を味わわせてください。  
血まみれの傷創がもたらす爽りを集めさせてください。

Niechaj broczy ciało moje,  
Krzyżem niechaj się upoję,  
Niech z miłosnych żyję tchnień!

どうか わたしの体にも血を流させてください。  
どうか 十字架に酔わせてください。  
どうか 愛の息吹で生きさせてください。

W morzu ognia zapalony,  
Z Twojej ręki niech osłony  
Puklerz wezmę w sądu dzień!

炎の海で 燃やされようというときに  
どうか あなたの手ずからの守りの楯を  
携えて行かせてください、裁きの日に!

## 6:

Chrystus niech mi będzie grodem,  
Krzyż niech będzie mym przewodem,  
Łaską pokrop, życie daj!

キリストよ わたしを守る砦となってください、  
十字架よ わたしの道しるべとなってください、  
恩寵にあずからせてください、いのちをお与えください!

Kiedy ciało me się skruszy,  
Oczyszczonej w ogniu duszy  
Glorję zgotuj, niebo, raj.

やがてこの体が碎け散るとき  
炎の中で浄化されたわが魂に  
栄光を 天国を 樂園を どうかお与えください。

4/23 SUN.

## 東京オペラシティシリーズ 第132回

2023年4月23日(日) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

## Tokyo Opera City Series No.132

Sun. 23th. April 2023, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

クシシュトフ・ウルバンスキ [指揮]  
 ヤン・リシエツキ [ピアノ]  
 グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Krzysztof Urbański, Conductor  
 Jan Lisiecki, Piano  
 Gleb Nikitin, Concertmaster

メンデルスゾーン:  
 劇音楽「真夏の夜の夢」序曲 op.21 (12' )

F.Mendelssohn:  
 “A Midsummer Night's Dream”  
 Overture (12' )

ショパン:  
 ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 op.21 (35' )

I.マエストロ  
 II.ラルゲット  
 III.アレグロ・ヴィヴァーチェ

F.Chopin:  
 Piano Concerto No.2 in F minor op.21 (35' )

I. Maestoso  
 II. Larghetto  
 III. Allegro Vivace

休憩(20')

Intermission(20')

ドヴォルザーク:  
 交響曲 第9番 ホ短調 op.95  
 「新世界より」(20')

I.アダージェオーアレグロ・モルト  
 II.ラルゴ  
 III.スケルツォ:モルト・ヴィヴァーチェ  
 IV.アレグロ・コン・フォーコ

A.Dvořák:  
 Symphony No.9 in E minor op.95  
 “From the New World” (20' )

I. Adagio – Allegro molto  
 II. Largo  
 III. Scherzo: Molto vivace  
 IV. Allegro con fuoco

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

楽曲解説はP.17をご覧ください

指揮者クシシュトフ・ウルバンスキのプロフィールはP.4をご覧ください





4/23 SUN.



©Christoph Köstlin

# Jan Lisiecki

Piano

ヤン・リシエツキ

【ピアノ】

カナダ出身。15歳でドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、18歳でグラモフォンのヤング・アーティスト賞を史上最年少で受賞、レナード・バーンスタイン賞、ジュノー賞、エコ賞など名だたる賞を受賞。パッパノ、ネゼ＝セガン、ハーディング、ホーネック、アバド等とともに、ボストン響、クリーブランド、フィラデルフィア管、スカラ座フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ドレスデン国立管、パリ管、バイエルン放送響、ロンドン響等と共演。

2020年には、ベートーヴェン生誕250周年にあわせ、ピアノ協奏曲全曲集をリリース。直後にレコーディングしたマティアス・ゲルネとのベートーヴェン歌曲集は、ディアパソンドール賞を受賞。2022年には「ナイト・ミュージック」をデジタル・アルバムとしてリリースする等、レコーディング活動も活発に行っている。

2021/22年には、ショパンの夜想曲とエチュードを取り上げた新しいリサイタル・プログラムを世界30都市以上で開催。2012年よりカナダ・ユニセフ大使。

Jan Lisiecki's interpretations and technique speak to a maturity beyond his age. At the age of 27, the Canadian performs over a hundred yearly concerts worldwide, and has worked closely with conductors such as Antonio Pappano, Yannick Nézet-Séguin, Daniel Harding, Manfred Honeck, and Claudio Abbado.

In 2021/2022, Lisiecki presents a new recital programme featuring Chopin's Nocturnes and Études in more than 30 cities all around the globe.

At the age of fifteen, Lisiecki signed an exclusive contract with Deutsche Grammophon. The label launched its celebrations of the Beethoven Year 2020 with the release of a live recording of all five Beethoven concertos from Konzerthaus Berlin. His Beethoven Lieder cycle with Matthias Goerne, released shortly after, was awarded the Diapason d'Or. At eighteen, Lisiecki became both the youngest ever recipient of Gramophone's Young Artist Award and received the Leonard Bernstein Award. He was named UNICEF Ambassador to Canada in 2012.

フェリックス・メンデルスゾーン(1809～1847)

## 劇音楽「真夏の夜の夢」序曲 op.21

シェイクスピアの戯曲からさまざまな芸術作品が生まれているが、そのひとつが「真夏の夜の夢」にインスピレーションを得て作曲された本作だ。

妖精の王オベロンと女王ティターニアが喧嘩中のアテネの森で、妖精パックが惚れ薬を使う相手を間違えたことで起こる、妖精・貴族・職人たちの恋の騒動を描く喜劇「真夏の夜の夢」。1825年に出版されたドイツ語訳を手に入れ、妖精の魔法の物語に魅せられたメンデルスゾーンは、1826年夏、姉ファニーに「とても大胆な作品になる」と予告してピアノ連弾版を作曲。その後オーケストレーションを施して、公には翌1827年に管弦楽版が初演された。

オペラや劇音楽の序曲は本編を書き終えたあとに作曲されることが多いが、「真夏の夜の夢」の場合は順序が逆で、有名な“結婚行進曲”を含む劇音楽は16年後の1842年、序曲から発展して作曲された。つまり序曲は、あくまで演奏会用序曲として書かれた作品である。

ところで、妖精の王オベロンを描いた作品といえば1826年4月にロンドンで初演されたウェーバーの歌劇「オベロン」もそう(原作者はシェイクスピアではないが)。その「オベロン」序曲が同年7月にベルリンで演奏された際、メンデルスゾーンはヴァイオリン奏者としてオーケストラに参加していた。先輩作曲家の描く妖精の音楽は心に深く響いたことだろう、歌劇「オベロン」第2幕の歌と「真夏の夜の夢」序曲に共通点が見られるのも興味深い。

そんな「真夏の夜の夢」序曲は、木管楽器の神秘的な和音で始まり、聴き手を妖精の森へ誘う。ヴァイオリンの細やかな動きで妖精が舞う世界を描写し、その後、アテネの王宮を表す格調高い音楽、恋人たちの愛、魔法でロバに変身した職人ボトムの鳴き声、狩りのホルンなどを描きながらソナタ形式で曲は展開し、最後に夜が明ける。若きメンデルスゾーンの天才的な音楽表現によるシェイクスピアの世界を楽しみたい。

榊原律子 Text by Ritsuko Sakakibara

作曲：1826～27年

初演：ピアノ連弾版：1826年11月19日ベルリン

管弦楽版：1827年2月20日シュテチン

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、チューバ1、ティンパニ、弦5部

## 4/23 SUN.

フレデリック・ショパン(1810～1849)

## ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 op.21

このヘ短調のピアノ協奏曲が初めて国立劇場に鳴り響いた夜は、ウィーン・デビュー成功を引っ提げワルシャワに帰還したショパンが、その名を郷里において不動のものにした瞬間でもあった。ショパンをウィーンに送り出した父・ニコラは、激動の時代に、知性と経営の両輪で人生を切り拓いた人だったようだ。ニコラは、ロレーヌ公国のマランヴィル(葡萄とワインの名産地は現在、仏北西部のヴォージュ県下に含まれる)に生まれた。彼を可愛がってくれたアダム・ヴェイドリヒを領地の管理人として雇用したポーランド貴族ミハウ・パッツ伯爵は、ポーランド史上に刻まれる自由と独立への闘い「バル連盟」を率いた1人であり、ヴェイドリヒが若くして秘書として仕えたミハウ・ヴィエルホルスキも、連盟が思いを伝えるためにヨーロッパ各国に送った使節の1人で、ルイ15世宮廷に赴いた人だった。伯爵死後、ヴェイドリヒと共にニコラ(ミコワイになる)がポーランドの地を踏んだのは16、7歳のこと。

その後、ショパンが生まれた年には、ワルシャワの高等学校教授の席を得る。校長サミュエル・リンデの計らいだったそうだが、名高い言語学者リンデの目に留まる存在になっていたということであろう。ミコワイは、学校の入った宮殿の中で、地方からの上流子弟のために、良質な食事や洗練された礼儀作法を身につけられる高級寄宿舎を営む手腕も発揮し、ショパン家のサロンはワルシャワの知識人たちが彩るところとなっていた。

出版が後になったため第2番となっているが、作曲は第1番とされるホ短調より先。ホ短調を初演した1830年10月の公演から20日余り後にワルシャワを離れたショパンが、再びポーランドの地を踏むことはなかった。

**第1楽章 マエストーソ** ヘ短調 4/4 協奏風ソナタ形式

**第2楽章 ラルゲット** 変イ長調 4/4 ショパンが親友のヴォイチェホフスキに「憧れの人を見つけてしまった」と書き送ったソプラノのコンスタンツィヤ・グワトコフスカを想って書いた楽章と言われる。

**第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ** ヘ短調 3/4

小倉多美子 Text by Tamiko Ogura

作曲: 1829～30年

初演: 1830年3月17日、ワルシャワ国立劇場 指揮・カロール・クルピンスキ、作曲家自身のピアノ・ソロによる

編成: 独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン1、ティンパニ、弦5部

アントニン・ドヴォルザーク (1841～1904)

## 交響曲 第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

交響曲第9番《新世界より》は、アントニン・ドヴォルザークがナショナル音楽院（私立学校）の院長としてアメリカで活動し始めた頃にニューヨークで作曲された。

この交響曲では、ベートーヴェンやブラームスの流れを汲む交響曲に見られる高度な構築性が実現されるとともに、アメリカ先住民の民俗音楽や黒人霊歌を想起させる音楽的要素が、アメリカの土俗的な風合いを出すための「彩色」として用いられている。興味深いことに、第2楽章と第3楽章を作曲する際には、アメリカの詩人ヘンリー・ロングフェロー（1807～1882）がアメリカ先住民の伝説に基づいて書いた叙事詩『ハイアワサの歌』（1855）を着想源とした。

**第1楽章 アダージョ-アレグロ・モルト** 序奏を伴うソナタ形式。ホルンによる第1主題と木管楽器による第2主題が提示されたのちに、主として提示部の末尾でフルートが奏でる主題を用いた展開部が続く。定石通りの再現部を経たのちに、第1主題に基づくコーダへ進む。

**第2楽章 ラルゴ** 短い序奏ののちに、イングリッシュ・ホルンが有名な主題を奏でてゆく。ドヴォルザークは、『ハイアワサの歌』のうち、主人公ハイアワサとミネハハという女性との婚約を描いた第10章と、ミネハハの葬儀を描いた第20章をこの楽章の着想源としていた。

**第3楽章 スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ** 2つのトリオを持つスケルツォ楽章。ここでは、『ハイアワサの歌』第11章で語られる、ハイアワサとミネハハとの結婚式を祝う踊りが描写されている。

**第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ** 序奏を伴うソナタ形式。弦楽器を主体とした短い序奏ののちに、ホルンとトロンボーンによる有名な第1主題と、クラリネットとフルートとチェロを主体とした第2主題による提示と展開が行われる。その後、第1楽章から第3楽章の主題も加わった新たな展開と、トロンボーンが第1主題を吹くところから始まる再現部を経て、全曲が華やかに締めくくられる。

中村 真 Text by Makoto Nakamura

作曲：1892年12月末～1893年5月末

初演：1893年12月16日ニューヨーク、アントン・ザイドル指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック協会管弦楽団

編成：フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦5部

# クシシュトフ・ ウルバンスキと TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA 特別インタビュー

(文／柴田克彦 ぶらあぼ2023年4月号より)

インディアナポリス響の音楽監督等を務め、ベルリン・フィルをはじめ世界の一流楽団に客演を続けるポーランドの指揮者クシシュトフ・ウルバンスキが、東京交響楽団に再登場を果たす。2009年東響に初登場した彼は、13年から3年間首席客演指揮者を務め、以後もたびたび共演。今回は21年11月の「カルミナ・ブラーナ」の熱演から間を置かずしての登場となる。

「東響とは長年にわたってお互いに信頼、尊敬、友情関係を築いてきました。彼らの演奏は最高水準です。楽員の皆さんはテクニクが完璧であると同時に、新しいアイデアやこれまでと異なる解釈に対しても非常に柔軟でオープンです。私はいつも彼らと演奏できることを嬉しく思っています」



ウルバンスキ自身も厳しい隔離制限をとりながら臨んだ  
《カルミナ・ブラーナ》(2021年11月、第695回定期演奏会)  
©T.Tairadate

## 選曲にも表れる東響との信頼

今回は2つのプログラムを指揮する。  
「前回シマノフスキのヴァイオリン協奏曲を演奏し、楽員もお客様もとても楽しんでくださったので、最初の週は彼の代表作の一つ『スターバト・マーテル』を、プロコフィエフの『ロメオとジュリエット』組曲と組み合わせま



©N.Ikegami

した。さらには、現代最高の作曲家の一人、コネツソンの音楽を披露できるのも嬉しいことです。2つ目のプロではドヴォルザークの交響曲『新世界より』を提案しました。この曲は私の日本デビュー時、東京交響楽団をはじめて指揮した時の作品。今回はその後も研究を重ね続けて生まれた新たな解釈をお伝えすることができます。それに、ショパンのピアノ協奏曲第2番（独奏はヤン・リシエツキ）、メンデルスゾーンの『真夏の夜の夢』序曲を組み合わせ、とても美しいプログラムに仕上がりました」

「ロメオ〜」は彼独自の選曲&構成による12曲の組曲。コネツソンの「Heiterkeit」（日本初演）とシマノフスキの作品には、東響コーラスや実力派ソリストも出演する。

「プロコフィエフの演奏会用組曲は物語の時系列に沿っていません。そこで私はシェイクスピアの悲劇の物語をそのまま伝えたいと考えました。またコネツソンは色彩的・ヴィルトゥオーゾ的な音楽を書く作曲家です。しかし今回演奏する「Heiterkeit」は、インディアナポリス響と共にベートーヴェン『第九』の序曲として委嘱したため、その楽器編成に収まるようあえて小型化された作品。音楽自体は、ヘルダーリンの詩の内容を強調した、とても感動的なものです。シマノフスキの方も素晴らしい音楽。初めて聴いたとき、最初の一音から私の心を捉え、数日間は頭から離れませんでした。彼の他の作品と比べるとシンプルですが、圧倒的な感動を呼び起こしてくれます」

## 名曲が生まれ変わる!?

「新世界より」の「新たな解釈」も気になる。「東響との初共演時と今では、曲に対する考え方が大きく変わりました。この曲の人気はある種の“呪い”のようなものでもあり、演奏の習慣が幾重にも重なって、曲の核心を明らかにすることが非常に難しくなっています。そこで、楽譜を深く掘り下げ、初演に使われた下書きやオリジナルのパート譜を研究しました。すると、ドヴォルザークが当初イメージした音楽は、見事なオーケストレーション、透明かつ華麗でありながらシンプルな構造を持っていました。それを楽員や聴衆と分かち合いたいと思います」

加えて自国の名作にも、「シマノフスキの作品と人気の高いショパンのピアノ協奏曲第2番をお届けしますが、ポーランドの素晴らしい音楽と向き合うと、いつも幸せな気持ちになります」と、格別な思いを寄せる。

常に鮮烈な音楽を奏でるコンビの2プログラム。いずれも聴き逃せない。

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人  
会  
員

### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社ドワンゴ

### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社イノアックコーポレーション  
株式会社インサイド・アウト  
環境ステーション株式会社  
学校法人創志学園  
株式会社ティー ワイ リミテッド  
株式会社日本財託  
株式会社パソナグループ

### ゴールド会員

株式会社あ佳音  
株式会社青山メインランド  
オリエンタル酵母工業株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
新菱冷熱工業株式会社  
株式会社すかいらーくホールディングス  
社会医療法人財団石心会  
セントラル短資FX株式会社  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石鹸株式会社  
中外製薬株式会社  
銚子屋油槽船株式会社  
株式会社TFDコーポレーション  
株式会社鉄鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人ふなざき総合事務所  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社

### シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
松竹株式会社  
月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
本田技研工業株式会社  
司法書士法人村田事務所

### ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
有限会社青史堂印刷  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士フィルムビジネス  
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社  
前山歯科医院  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

### 賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程  
政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名2社





# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポーター会員

©N.Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

\*新会員の方です。ありがとうございます(4月1日現在、五十音順)。

- |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |         |     |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---------|-----|
| 小名 | 雅惠  | 齋藤 | 藤藤 | 将隆 | 武田 | 克彦 | 原田 | 佐保 | 山縣 | 裕兒  | 吉野      | 民子  |
| 野澤 | 信也  | 野澤 | 藤藤 | 隆典 | 代内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 男一郎 | 吉水      | 純子  |
| 小野 | 廣一  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 政継  | 吉見      | 幸子  |
| 塚嘉 | 純二  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 世知留 | 米田      | 徹光  |
| 小船 | 美穂  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 昌克  | 米田      | 光幸  |
| ■か |     | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 美生子 | 米谷      | ■わ  |
| 甲斐 | 幸士  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 義則  |         | ■わ  |
| 海藤 | 慶子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 若田  | 博       | 若槻  |
| 柿沼 | 威司  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 俊明  | 若槻      | 若槻  |
| 方波 | 和雄  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 尚洋  | 渡邊      | 不二夫 |
| 山見 | 干栄  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 秀修  | C.S.    | 朋子  |
| 葛城 | 伸一  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 淳   | N.S.    |     |
| 加藤 | 憲司  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 | 美紀  | 匿名 120名 |     |
| 川口 | 善行  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 川野 | 安子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 河村 | 陽子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 菅野 | 海和  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 菊田 | 広海  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 北野 | 雅子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 内村 | 眞子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木下 | 泰子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木下 | 亮平  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| ■根 | 弘篤  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 好一  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 強   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 富士子 | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 美智子 | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 幸男  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 木村 | 幸子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 藤原 | 潔   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 栗原 | 美幸  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 玄間 | 美博  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小泉 | 弥生  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小泉 | 生   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 好士 | 穂子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 野山 | 太   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 山  | 美恵子 | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 国府 | 里美  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 園  | 周   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 古平 | 一雄  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小西 | 淳   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小林 | 宏州  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小林 | 浩   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 小山 | 圭子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 近藤 | 恵   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 近藤 | 弥生  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 近内 | 光一  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 近内 | 友史子 | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 後藤 | 聡   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| ■後 | 裕二  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| ■後 |     | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 田  |     | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| ■さ |     | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 齋木 | 一宏  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 齋藤 | 爽子  | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 齋藤 | ひろ子 | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |
| 齋藤 | 博   | 野澤 | 藤藤 | 典典 | 内内 | 春春 | 山山 | 京子 | 山岸 |     |         |     |

**遺贈・相続ご寄付 (敬称略)**

鈴木	久子	牧野	季子	
竹内	容子	岡橋	純男	
齋藤	公治	メモリアル基金	岡橋	孜

**法人定期会員**

**【定期演奏会】**  
東京コンテナ工業株式会社



### 特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しません。特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

大飼	裕一	仲川	昌宏
小川	健	東	由美子
栗田	清司	堀田	有幸
清水	達	森山	雅一郎
長岡	秀成	匿名	17名
			(敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター  
044-520-1511へお電話をお願いします。



©N.Ikegami

## <東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

### 個人会員

フレンズ1

年額1万円  
～29,999円

フレンズ3

年額3万円  
～49,999円

フレンズ5

年額5万円  
～99,999円

サークル10

年額10万円  
～249,999円

サークル25

年額25万円  
～499,999円

サークル50

年額50万円～

### 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

#### 会員特典

詳細はHP、  
又はお電話でお問合せ下さい

会員特典	法人会員	サークル会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2	○	○	○	○	○

\*1 一部対象外もございます。\*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

#### 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分\*3について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。\*3

\*3但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

# Meet the Musicians

楽団員紹介

音楽を心に伝える最年少ヴァイオリニスト

## 辻田 薫り

Kaori Tsujita

[第2ヴァイオリン奏者]2021年10月入団

趣味:刺繍、実家の犬、テディ(オーストラリアン・ラブラドル)と遊ぶこと



### オーケストラへの興味は 高校生になってから

2歳で絵本と箸を使って弾き真似をしているのを見た両親が、3歳の誕生日に楽器をプレゼントしてくれたことがきっかけで、ヴァイオリンをはじめました。レッスン中もずっと先生の膝の上で過ごすような、「頑固な子」だったようです(笑)。

出身は愛知県豊川市。上京し、進学した藝高ではじめてのオーケストラは、ベートーヴェンの交響曲第1番。同級生があまりにも上手で「進む道を間違えた」と思いました(笑)。最初は知り合いもおらず、慣れないひとり暮らしと、ただ授業に必死についていく生活に「自分が音楽をする必要があるのだろうか」と考えたこともありましたが、同級生とそのお母さん方の優しさ、温かさ、アンサンブルの魅力に触れるうちに、様々な個性が集まるからこそ素晴らしいものを生み出すことの出来るオーケストラで活動したい、と思うようになりました。

### コロナ禍で再確認

大学2年生の終わりにコロナ禍に突入り、何もできない自分がもどかしい日々が続きました。苦境の時、いつも音楽に助けられていることに気づき、自分も音楽で貢献したいという思いが強まりました。音楽で競うことが苦手と避けてきたオーディションでしたが「このま

までは一生オーケストラに入れない」と思い、大学4年生の5月、先生にも両親にも誰にも言えないまま(笑)、東響のオーディションを受けました。初めてのオーケストラのオーディションで雰囲気も分からない中、楽団員の皆さんが大きな拍手で迎えてくださったのをよく覚えていて、「仲間を尊重する気持ち」、「常に“感謝”の気持ちがある楽団」という印象は、今も全く変わりません。私は人に恵まれているなど常々感じます。

私はまだ経験が浅く、1年の研究員期間中に演奏したことがあった曲は、「フィガロの結婚」序曲だけ。家では譜読みに追われ、リハーサルは全てが勉強で、とにかく目まぐるしい日々を過ごしています。勉強に追われると、どうしても音楽を「部分的」に見てしまいがちなのですが、“心に伝わる”音楽を届けられるよう、頑張っていきたいです。そして楽員・スタッフの皆さん、聴きに来てくださるお客様、今日も音楽ができていくことへの感謝を忘れずにいたいと思います。



誕生日ケーキにはヴァイオリンが。



刺繍のほかに、編み物なども。

インタビュー:事務局

# NEWS & TOPICS

新入団

2023年4月1日付

笹沼 樹 Tatsuki Sasanuma [客演首席チェロ奏者]

第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ARDミュンヘン国際コンクール、NYのYoung Concert Artists International Audition、東京音楽コンクール、日本音楽コンクールなどに優勝・入賞。ホテルオークラ音楽賞、学習院文化活動賞受賞。学習院大学文学部卒業、桐朋学園大学大学院修了。パリ・エコー・ルノルマル音楽院在籍。デビューCD『親愛の言葉』（レコード芸術特選盤）。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi（宗次コレクション）。



©T.Tairadate

新入団

2023年4月1日付

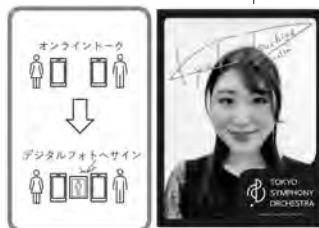
竹山 愛 Ai Takeyama [首席フルート奏者]

## マエストロシートがDXでリニューアル!

19歳未満の皆さまをオーケストラ公演へ招待してきた教育プログラム「マエストロシート」。デジタル技術を駆使した「オンライントーク&デジタルサイン」を導入し、教育プログラムでもありながら「新しいエンターテインメント体験」としてリニューアルいたしました!



詳細は公式サイトから



# NEXT PROGRAM

5/20 (土) 第710回 定期演奏会  
18:00 サントリーホール

※5/21 (日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホールも同プログラムにて開催

● 指揮: ジョナサン・ノット

● リゲティ: ムジカ・リチェルカータ第2番  
(ピアノソロ: 小笠寺美樹)

● マラー: 交響曲 第6番 イ短調「悲劇的」

● S¥9,000 A¥7,000 B¥6,000 C¥4,000 P¥3,000

※本公演には休憩はございません。



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00 ~ 18:00 / 土日祝休)

# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」[0歳からのオーケストラ]等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ(演奏会形式)》は、毎日新聞クラシックナビ「2022年開催公演ベスト10」第1位、音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。



©T.Tairadate

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world, and its Salome in Concert Style was selected as the best Japanese Concert in the "Concert Best Ten 2022" by Ongaku no Tomo magazine, and won the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 40 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料招待】



NICO NICO  
TOKYO SYMPHONY  
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト  
[TSO MUSIC & VIDEO  
SUBSCRIPTION]

1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Broadcast  
**Symphony**

Symphony 2023年(令和5年)4月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト